

しあわせを  
共に産み出す党  
日本共産党

# みんなの民報

## 三月町議会報告

町議会議員 常山 知子

三月十二日～十五日の会期で、皆野町議会の三月定例会が開かれました。(会期は4日間でしたが、十四日で全ての審議が終了し閉会となりました)

一般質問は5名、(小杉、常山、林、新井康、内海)の各議員が行いました。

町長提出議案24件、同意3件、議員提出議案2件でした。

(主な内容)

- ① 平成25年度(2013年) 皆野町一般会計予算
- ② H25年度(13年) 皆野町国民健康保険特別会計予算
- ③ H25年度(13年) 皆野町介護保険特別会計予算
- ④ 皆野町指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例の制定(他)
- ⑤ 議員提出議案は、皆野町町議会会議規則の一部及び委員会条例の一部を改正するものです。

### タクシー料金補助制度

四月一日からスタートします。

公共交通不便地域の高齢者に、タクシー料金の一部を補助し、外出の支援を通じて高齢者の福祉と生活の向上を図るといふものです。

公共交通問題は、以前から何人も議員からその対策について質問がされてきました。常山議員も昨年2回の一般質問を行ない、また町と議員全員による行政視察を行う中で実現したものです。問題点がありますが、一歩前進しました。

☆対象になる人

- ① 年齢70歳以上
- ② 運転免許証を持たない人
- ③ バス停・駅から1km以上離れている地域

☆駅までのタクシー代の半額補助

(対象地域・手続き等詳しくは四月の町報をご覧ください)

### 農山村員展示館の開館について

は平成25年度も開館する予定で進めています。また、隣にある「小林コレクション」はかびなどの発生に大変気をを使って保存されています。見学については、小人数で見ることが可能なので、教育委員会へ予約してください。

### 住宅リフォーム資金助成制度

工事費20万円以上で定額4万円の補助で一回限りの助成から、今年度から異なる場所であれば何回でも助成が受けられるようになりました。

### 保育所・町立幼稚園の保育料

について

3人目無料化の拡大で、子育て支援がさらに前進しました。(第一子が中学生までが対象です)

## 2013年度(平成25年度) 一般会計予算 歳入・歳出 41億7530万円(前年比4.7%増)

### (歳入の特徴)

- 町民税 4億8304万円  
(個人) 4億0561万円(270万円増)  
(法人) 7743万円(907万円増)
- 固定資産税 4億9671万円
- 地方交付税 14億4500万円

### (歳出の特徴)

- 役場非常用電源設備 整備 5049万円(新規事業)
- 高齢者外出支援事業(タクシード半額助成) 660万円(新規事業)
- 電話による無料健康医療相談サービス 192万円(新規事業)
- 観光トイレ清掃委託費 150万円(新規事業)
- 防火水槽の整備(原区、下原区) 1200万円
- 消防団第3分団(若浜)詰所、消防車両整備 5720万円
- 太陽光発電設備 設置補助金 400万円
- 三小体育館 屋根大規模修繕 1680万円
- ドイツ ビュアシュタット市との交流 300万円
- 文化・芸術体験事業 300万円
- 第45回秩父音頭まつり補助金 450万円

### 人事

固定資産評価審査委員会

委員の選任

山口秀一氏(三沢)

青木信之氏(皆野)

人権擁護委員候補者の推薦

新井義虎氏(金沢)

# 常山知子議員の3月議会 一般質問から

だれもが利用できる

## 公共交通の確立を

(質 問) 公共交通対策は、町が早急に取り組む問題と考え、2回の行政視察にも参加しました。

12月議会の質問では、視察で学んだことを生かし町民の声をよく聞いて検討して欲しいと質問したところです。

町長はタクシー代の半額補助制度を行うという、あまりにも突然の答弁を行いました。一歩前進したとは考えますが、この補助制度は、利用できる人や地域が限られている、バスが通っていない地域で対象外になっている所もあるなど問題点があります。

この制度をスタートさせながら、行政・住民・事業者などと「協議会」を設立させ皆野町にあった公共交通を考える場をつくっていただきたい。どう考えますか。

(答 弁) 視察研修などを行ない検討した結果、運転できない高齢者の外出支援として当町にあったものは、タクシーの補助制度が良いという結論に達しました。

今後の状況をみきわめながら検証を行ない進めていき、新たに公共交通対策会議を立ち上げる考えはありません。

## 国民健康保険の

### 広域化について

(質 問) 命を守るはずの「国保」ですが、高すぎる保険税が大問題になっています。最大の原因は国の負担割合を半分に減らして、国の責任を後退させてきたことです。

その為国保は、財政難、国保税の値上げ、滞納者の増加という悪循環が続いています。

きびしい現状を、市町村国保同士に助け合いをさせ、国保税の値上げ、医療費の抑制するのが「国保の広域化」のねらいです。

① 平成27年4月から実施の給付財政の「都道府県単位化」にする法律ができましたが、すでに埼玉県ほど進んでいますか。

② 一般会計繰入れで、国保税の引き上げをすることなく、町民の負担軽減の努力を行なっていたらいい。

(答 弁) 埼玉県国保広域化の検討は、平成18年「国保の広域化に関する研究会」を設置。平成21年、同研究会から広域化を早期に実現する。実施主体は広域連合が適当する報告書が知事に出され、現在は「第二次広域化等支援方針」の策定中です。

町では、平成24年国保税の所得割の引き上げ、資産割の引き下げの税改正を実施。

大幅な改善には及ばず財政不足は引き続き推移しており、当面は税率の引き下げは見送らざる状況です。

## 2013年度 特別会計

### 皆野町国民健康保険

特別会計予算 (歳入・歳出) 12億7200万円

### 皆野町介護保険

特別会計予算 (歳入・歳出) 9億9750万円

### 皆野町後期高齢者医療

特別会計予算 (歳入・歳出) 1億2160万円

## 新米議員のひとりごと

常山 知子



3月議会が終了しました。今回は、2013年度の町の予算を決めるいつにも増して大事な議会でした。

介護予防事業費のところで、「地域の公会堂やお年寄りが集まる場所で、軽い運動と笑う健康法で、落語を取り入れた介護予防をやってはどうか」と提案しました。

皆野町は、水泳教室、ふれあいひろば、らくらく健康塾などの介護予防を積極的に行っています。

らくらく健康塾は、とても人気があり一度参加させてもらいました。交通手段がない人にはワゴンタクシーで送迎付きです。みなさんのいきいきとした笑顔が印象的でした。

この取り組みにもう少し枠を広げて、健康塾などに参加できないお年寄りにも目をむけてもらいたい。

「笑いは、脳をマッサージする」と学者が言っています。

みんなで笑う！元気になると思います。来年度以降、落語を取り入れた計画を考えてみたい、という答弁でした。